



写真は表彰を受けられた選手と平野会長（左端）と宮崎副課長（右端）

平成27年度（第58回）神奈川県溶接技術コンクール開催

神奈川県及び一般社団法人神奈川県溶接協会の共催による、平成27年度（第58回）神奈川県溶接技術コンクール（被覆アーク溶接及び炭酸ガス溶接）は、第1部が5月22日（金）に（一財）日本溶接技術センターに於いて開催されました。

今年度の参加者は、第1部被覆アーク溶接18名、炭酸ガスアーク溶接27名。各社から選び抜かれた45名の選手が、神奈川県一番と全国溶接技術競技会の代表選手を目指し、日頃の練習の成果を十分に発揮されました。特に今年度より全国競技会の課題が変更されるのに伴い、県大会においても邪魔板のスカラップの寸法が小さくなるなど難易度が上がり、各選手苦戦を強いられる場面も見受けられ白熱した競技会となりました。その後、当日は外観試験判定、後日X線試験、曲げ試験判定を行い成績が決定しました。

表彰式は、9月2日（水）（一財）日本溶接技術センターに於いて開催されました。

主催者を代表して神奈川県産業労働局産業部 宮崎美由紀産業振興副課長、一般社団法人神奈川県溶接協会平野賢治会長、入賞選手、会社代表、来賓、協会役員、選手付添等70名余りの出席を得て行われました。

被覆アーク溶接及び炭酸ガスアーク溶接の1位、2位の選手は全国溶接技術競技会の神奈川県代表として推薦されます。

例年開催されている評価試験と同時開催の第2部は、6月5日（金）に開催予定でしたが、参加申込者がいないため中止となりました。来年度以降は、第一部のみ開催となり、神奈川県在住在勤の溶接技術者すべての方が参加出来ます。

尚、今年度の第61回全国溶接技術競技会は大阪府摂津市のポリテクセンター関西において10月17日、18日開催されます。神奈川県代表は、被覆アーク溶接の部、炭酸ガスアーク溶接の部で1位、2位に入賞した4名になります。

各部の優勝者 神奈川県知事賞（団体賞／個人賞）

被覆アーク溶接第1部

団体賞

JFEエンジニアリング(株)

個人賞 優勝

JFEエンジニアリング(株) 草薙 拓人

炭酸ガスアーク溶接第1部

団体賞

(株)東芝浜川崎工場

個人賞 優勝

(株)東芝浜川崎工場 鈴木 耕久


 全国競技会に出場する4選手
 左から 中神さん 鈴木さん 草薙さん 内谷さん

上記の入賞者には他に一般社団法人神奈川県溶接協会会長賞(優秀賞)、一般社団法人日本溶接協会東部地区溶接技術検定委員長賞、(株)産報賞がそれぞれ贈られました。

被覆アーク溶接第1部

◎草薙 拓人 JFEエンジニアリング(株)
 大野 亮平 (株)東芝京浜事業所
 工藤 陽平 三菱日立パワーシステムズ(株)
 青木 岳志 神鋼溶接サービス(株)
 日高弘二郎 神鋼溶接サービス(株)

◎内谷 瑛 (株)IHI 横浜工場
 斉藤 拓哉 JFEエンジニアリング(株)
 増淵 岳 (株)東芝京浜事業所
 加藤 文教 三菱重工業(株)相模原製作所
 地村健太郎 (株)神戸製鋼所

炭酸ガスアーク溶接第1部

◎鈴木 耕久 (株)東芝浜川崎工場
 馬渡 晋也 (株)東芝京浜事業所
 猪野 悟 住友重機械マリンエンジニアリング(株)
 湯山健太郎 JFEエンジニアリング(株)
 佐藤 寿之 住友重機械マリンエンジニアリング(株)
 勝山 大晃 三菱重工業(株)相模原製作所
 鈴木 一史 (株)総合車両製作所
 菅野 匠矢 荏原冷熱システム(株)

◎中神 貴紘 (株)東芝京浜事業所
 上原友貴彦 JFEエンジニアリング(株)
 木村 晋輔 ジャパンマリンユナイテッド(株)
 工藤 将太 住友重機械マリンエンジニアリング(株)
 伴 隆一郎 三菱重工業(株)相模原製作所
 小島 勇輝 (株)東芝京浜事業所
 小園 勇紀 ジャパンマリンユナイテッド(株)



写真は外観審査及び
 曲げ試験・判定の様子



■高校生による溶接研修会及び溶接コンクールについて

◎神奈川県工業高等学校教師・生徒研修について

一般社団法人神奈川県溶接協会と（一財）日本溶接技術センターは共同で、平成27年度 神奈川県教科研究会工業部会が主催する神奈川県教科研究会工業部会 機械専門部夏季研修会「アーク溶接技能講習」を8月24、25、26日(3日間)開催しました。

これは高等学校教師・生徒に対する溶接技能の研修会です。神奈川県溶接協会としては今年で7回目になります。

実習内容は溶接技能評価試験のA-2F(板厚9mm裏当て金あり下向き)です。今年は、溶接技術マイスターの佐藤丹治先生をお迎えして技術指導をしていただきました。

参加者は8校から先生12名、生徒22名(内女子5名)が参加し、今年も厳しい残暑にもかかわらず、先生も生徒も皆さん大変熱心に取り組んでいました。

尚、この研修会に参加された生徒は一般社団法人神奈川県溶接協会主催で11月7日(土)に（一財）日本溶接技術センターで開催される第7回神奈川県高校生溶接コンクールに参加する予定です。

また、8月27日には（一財）日本溶接技術センター及びその他の団体共催で『非破壊検査セミナー』を開催しました。3日間の実習に於いて溶接した参加者各自の試験材を蛍光探傷試験及びエックス線透過試験したものを専門家の解説を受けながら溶接部の観察をしました。



写真は研修会に参加された高校生と関係者の方々（産報出版提供）

◎平成27年度(第7回)神奈川県高校生溶接コンクール

平成27年度(第7回)神奈川県高校生溶接コンクールは下記要領により開催します。

主催：(一社)神奈川県溶接協会 後援：神奈川県工業高等学校長会 協力：(一財)日本溶接技術センター

会場：(一財)日本溶接技術センター 期日：平成27年11月7日(土)

競技課題 溶接技能評価試験のA-2F(板厚9mm裏当て金あり下向き)

判定方法 外観判定・X線試験判定

参加者 神奈川県内の工業高等学校生徒 参加数 未定

*このコンクールで上位2名の方を平成28年度(第7回)関東甲信越高校生溶接コンクールに神奈川県代表として推薦します。

期日 平成28年4月23日(土) 会場：神鋼溶接サービス(藤沢) (予定)

平成27・28年度 役員改選のお知らせ

平成27年5月27日の定時総会に於いて役員の変更がありましたのでお知らせいたします。

会 長 平野 賢治 (株)IHI横浜工場	副会長 志賀 啓介 新興ブランテック(株)
副会長 外館 明 JFEエンジニアリング(株)	副会長 堀切 幸夫 東芝プラントシステム(株)
理 事 黒川 剛志 (一財)日本溶接技術センター	理 事 森谷 俊昭 三菱日立パワーシステムズ(株)
理 事 河西 哲男 (一社)神奈川県高圧ガス流通保安協会	理 事 岡田 寿 (株)総合車両製作所
理 事 尾茂田 剛 (株)大倉製作所	理 事 中垣 憲人 住友重機械マリンエンジニアリング(株)
理 事 大菱池 学 三菱重工業(株)防衛・宇宙ドメイン	理 事 牧野 吉延 (株)東芝電力システム社京浜事業所
理 事 飯塚 実 富士電機(株)	理 事 大矢 雅博 神鋼溶接サービス(株)
理 事 吉野 慎吾 (株)タセト	専務理事 岩井 忠義 一般社団法人神奈川県溶接協会
監 事 岸部 直喜 神奈川県鉄構業協同組合	監 事 相馬源市郎 (株)福嶋鉄工所

寄稿

神奈川の山を走って

JFEエンジニアリング(株) 外館 明

トレイルランニングとは未舗装路の山野を走る競技ですが、皆さん聞いたことはありますか？現在では競技人口は約20万人（潜在人口70万人）以上とも言われ、その数は年々増え続けています。私もその中の一人ですが、トレイルランニングの魅力は何と言っても、短時間で山々を巡り普段見られない絶景が見られること、そして走り終えた後の達成感です。これまで、10kmやフルマラソンなどのロードレースに数多く参加してきましたが、大自然の山中を走り抜け、時には立ち止まって景色を眺めたり、休憩したりする、そんなトレイルランニングがとても新鮮に感じ、魅了されています。最近では、神奈川県内の山歩き&ランニングに出かける回数が増えましたが、これまでランニング仲間と走った思い出のコースについて皆さんにご紹介します。走らなくても歩いて行けますので、是非神奈川の美しい山に登ってみてください。

まず、一つ目のコースは、箱根です。箱根には様々なコースがありますが、箱根湯本駅(96m)～明星ヶ岳(924m)～明神ヶ岳(1,169m)～金時山(1,212m)のコースです。私が行ったのは年末であったため、登山客が少なく貸切り状態でした。また、天気にも恵まれ、観光名所の大涌谷、芦ノ湖そして美しい富士山を望みながら走ることができました。途中には、「となりのトトロ」に出てくるような竹の壁やトンネルが続き、非日常空間を楽しめるコースです。冬期ということもあり、朝早い時間帯や日陰は、地面が凍っており比較的走りやすいのですが、日当は霜が溶けて泥濘の酷いところが何箇所もありました。特に金時山の泥濘が一番酷かったですが、山頂から見た富士山は笠雲がかかった何とも言えぬ絶景で、疲れた体を癒してくれました。一休みした後、同じ道に戻りましたが、帰り道は暗くなる前に下山しようとするあまり、ついついスピードが上がってしまいました。山中での怪我は禁物なので絶対に無理しないことを自分に言い聞かせながら無事下山しました。

二つ目は表丹沢コースです。小田急線渋沢駅からバスに乗り、大倉バス停(標高290m)で下車すると、このコースの始まりです。表丹沢の最高峰である塔ノ岳(1,491m)まで一気に上り、その後、新大日(1,340m)～二ノ塔(1,144m)～烏尾山(1,136m)～三ノ塔(1,205m)を抜け、ヤビツ峠を經由し、大山山頂(1,252m)～阿夫利神社下社(696m)～高取山(556m)～東海大学前駅でゴールです。歩くとなると1日で回ることにはできませんが、歩き+走りですら9時間ほどかかりました。このコースの絶景は、塔ノ岳山頂から三ノ塔にかけてのルートです。所々に鎖場などの険しいルートや崖もあり、若干恐怖を感じつつ、相模湾を一望できるすばらしい景色が続きます。「神奈川の屋根」と言われる丹沢山地の一部ですので、山歩きに興味のある方は、是非一度この健脚コースをお楽しみください。

家路につく前に仲間たちと温泉に入り、反省会という名の飲み会をしますが、これが一番の楽しい時間です。この時間のために頑張ったような気がしますが、次はどここの山を走ろうかな、と思いを馳せるのでした。

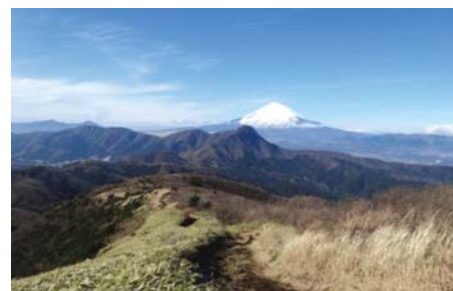


写真1 明神ヶ岳から見た金時山と富士山（いずれも中央）



写真2 金時山山頂から見た富士山

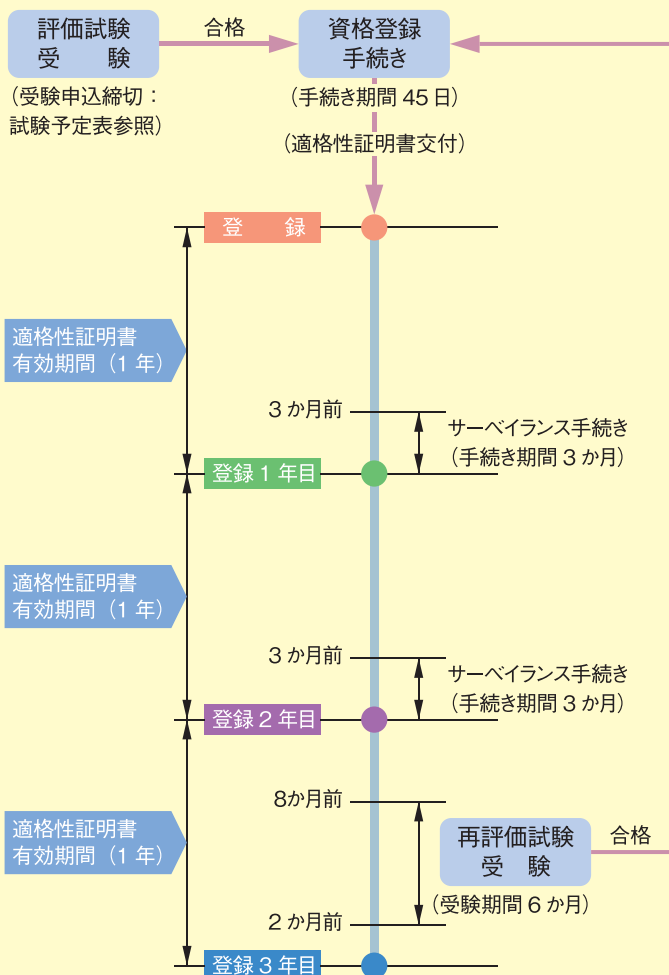


写真3 塔ノ岳山頂に向かう長～い階段



更新試験（再評価試験）について

評価試験の流れ



- ①更新試験の受験期間が次のようになっています。更新試験の受験期間は技術資格の有効期限が切れる8ヶ月前から2ヶ月前までに試験を受けなければなりません。
- ②更新試験に合格した場合は資格の登録日が現在資格の有効期限に合わせて登録されるようになっています。
- ③上記期間外に受験する場合は有効期限内であっても、新規試験（学科試験免除）で基本級も受験しなければなりませんのでご注意ください。
- ④更新試験と同時に新規種目も受験出来ますが、この場合は新規試験（学科試験免除）扱いとなり②の扱いは受けられません。②の扱いを受けようとする場合は新規試験及び更新試験それぞれ試験申込書を別々にしてください。
- ⑤登録年月日と有効期限が同じで証明書番号が異なる別々の資格を一枚の試験申込書で申し込んで受験する場合は現在のところ更新試験の扱いにはなりません。新規受験になってしまいますのでご注意ください。更新試験の扱いを受ける場合は、申込書を別々にして下さい。
- ⑥試験結果の発表は、毎月の15日以前の試験は翌月末の発表です。

サーベイランス（継続試験）と更新試験（再評価試験）

溶接適格性証明書には登録年月日（発行年月日）と有効期限が記載されています。サーベイランスとは書類のみの手続きで試験はありません。有効期限の3ヶ月前から期限の日までに手続きをしてください。必ず有効期限の3ヶ月前に通知を出しています。最初（1回目）のサーベイランスをしないと2回目のサーベイランスの通知は行きません。サーベイランスは2回です。

サーベイランスを2回されると、次は更新試験（再評価試験）になります。実技試験を受け直して合格されると新しく証明書が発行されます。但し、1回目のサーベイランス又は2回目のサーベイランスをされないと更新試験の案内も行きませんのでご注意ください。